HFA200

Home Fire Alert®

特定火災通報装置

ホームファイアーアラート®

取扱説明書

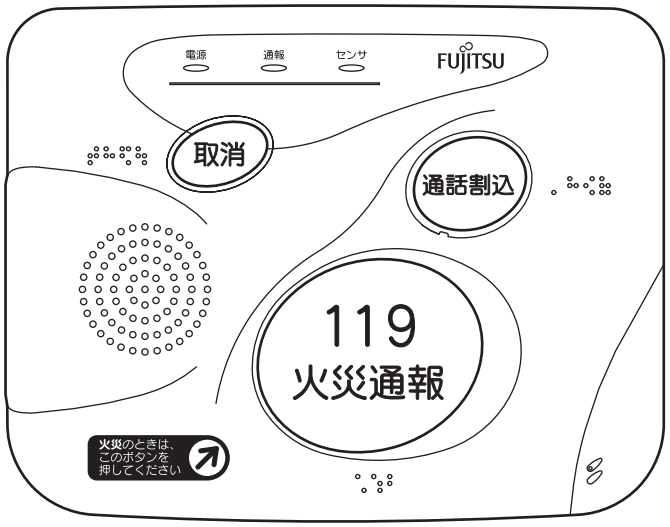
T101-2017-01

2011年 6月 (01)

保証書付

いつも地球を見守っている

本体



付属品

・バッテリー	（1個）
・壁掛け用木ネジ	（4本）
・コンセント抜け防止金具	（1個）
・取扱説明書	（1部）

この度は、特定火災通報装置、ホームファイアーアラート®をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、本製品を正しくお使いくださるようお願い申し上げます。
また、この取扱説明書をお読みになったあとも、大切に保管して下さい。

ご使用にあたっての留意事項

●本製品は特定火災通報装置です。消防法施行令別表第一（六）項ロに掲げる防火対象物で、
延べ面積５００㎡未満の小規模社会福祉施設等に設置することができます。
●本製品は、日本国内用に設計されています。海外では使用できません。
●本製品は、火災発生時に火災ボタンを押すことで、消防機関へ自動的に火災発生を通知する装置です。
本製品は、火災を防止したり、消火を行う装置ではありません。万が一の火災などによる損害については、
責任を負い兼ねますので、ご了承下さい。
●本製品は、任意の音声メッセージを出力することができますが、予め消防機関ごとに決められた様式に従い、
施工店、または販売店がメッセージを作成し、本製品への書込みを行う必要があります。
●本製品への電源接続は、電源コンセントで行いますので、ネジ止め接続を行う必要はありません。
●本製品に、電話機を接続して利用される場合は、本製品の近くに電話機を設置して下さい。
本製品と離れた場所に電話機を設置する場合は、不用意に受話器が外れないようご注意下さい。
本製品で消防機関と通話中に受話器が外れると、通話が電話機側に切替ります。
●本製品の設置・工事は甲種第４類消防設備士、電話工事担任者の有資格者が実施する必要があります。
●本製品は、常に正常な状態を維持するよう、有資格者（甲種第４類消防設備士、乙種第４類消防設備士、
あるいは第２種消防設備点検資格者）による定期点検、日常の点検を行って下さい。
定期点検を怠りますと、緊急時に正常に機能しない恐れがあり、その責任を問われることがあります。

はじめに

この説明書は、本製品の日常の取扱い方法について説明したものです。
また、本製品の設置工事や設定方法または、メンテナンスについては別冊の設置工事説明書（施工店用）に記載があります。
本製品の音声メッセージ作成・書込については、メッセージ編集ソフト取扱説明書、メッセージ書込ソフト
取扱説明書（施工店、販売店用）に記載があります。

特定火災通報装置　取扱説明書 T101-2017-01	日常の取扱い方法について
特定火災通報装置　設置工事説明書 T101-2020-01	据え付け工事・動作設定・メンテナンスについて
メッセージ編集ソフト　取扱説明書 T101-2022-01	任意メッセージの作成・書込について
メッセージ書込ソフト　取扱説明書 T101-2023-01	任意メッセージの書込について

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。正しくお使いいただき、身体への危害や財産への損害を与えないために、いろいろな絵表示を記載しています。次の絵表示と意味をよくご理解してからお読み下さい。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または、重傷を負うような切迫した危険が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷または、中程度の傷害を負う可能性が想定される内容、および製品自身またはその他の使用者等の財産に損害が生じる危険が想定される内容を示しています。
⃠ 禁止	この表示は、一般的な取扱いで［禁止］とする内容を示しています。

⚠ 警告	●本製品の使用環境について 本製品は「8　仕様」に記載します仕様の環境において、ご使用されることを想定しています。なお、仕様環境範囲外でご使用された場合、使用者および周辺の方の身体や財産等に予期しない損害が生じる恐れがありますので、ご注意下さい。 ●本製品の取扱いについて むやみに改造を加えたり、本製品の中古品をオーバーホール等によって再生した場合、使用者および周辺の方の身体や財産等に予期しない損害が生じる恐れがあります。絶対に行わないで下さい。 ●内蔵バッテリーについて 内蔵バッテリーを分解したり、火中に投じると破裂の危険があり、使用者および周辺の方の身体や財産等に予期しない損害が生じる恐れがありますので、ご注意下さい。 又、バッテリーが適切でない種類と交換された場合、爆発の危険がありますので、必ず専用品を使用して下さい。 なお、保守者以外は、交換作業を絶対行わないで下さい。 ●本製品と内蔵バッテリーの廃棄に伴う留意点 一般廃棄物として廃棄してしまうと、所属自治体の規則に反することとなります。本製品を廃棄する場合は所属自治体の規則に則って処分して下さい。 ●電波障害について 強力な電波により本製品が誤動作する場合があります。
⚠ 注意	●内蔵バッテリーについて 内蔵バッテリーは３年ごとに交換する必要がありますが、安全をみて２年半程度で交換することをお薦めします。 定期的に交換しない場合、停電保証ができなくなり、事故の原因となります。 ●本製品の設置場所について 粉塵の異常に多い場所、強力な磁気や電気雑音を発生する機器の近く、日光の直接当たる場所、水のかかる場所、および高温多湿な場所には設置しないようにして下さい。 ●本製品の保管について 保管状態により、使用したとき、正常な動作ができなくなる恐れ、または人が危険にさらされる恐れがありますので、本製品を保管する場合は、日光の直接当たる場所や高温多湿な場所をさけ、平らな場所に保管して下さい。その際重量物を本製品の上に置かないようご注意下さい。メーカー出荷後、長期間（３ヶ月程度）電源を投入しませんと、内蔵バッテリーおよび本製品が正常に動作しない恐れがあり、品質的に保証しかねます。長期間電源を投入する予定がない場合は、恐れ入りますが本製品の電源を入れ、内蔵バッテリーの充電を行って下さい。 （内蔵バッテリーの充電は、施工店、販売店にご相談下さい） ●ダイヤル式電話機の接続について ダイヤル式の一部機種については、センタ呼び出し時にベル音が１回なる場合がありますが、故障ではありません。

⃠ 禁止	●日常の取扱いについて バッテリーポケットのふたは工事／保守者以外は開けないで下さい。また、分解しないで下さい。 ●本製品に接続する電話回線について ホームテレホンやビジネスホン等の４線式または６線式の電話回線を接続しないで下さい。 装置に過電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。 ●内蔵バッテリーの過放電について 電源プラグをコンセントから抜いた状態、または電源供給元（ブレーカー等）を停止した状態で、本製品を長時間放置しないで下さい。内蔵バッテリーが過放電となり、元の電源容量を確保できなくなる場合があります。 本製品を長時間使用しない場合は、内蔵バッテリーを外して下さい。（内蔵バッテリーの取り外しは、施工店、販売店にご相談下さい）

定期点検について

特定火災通報装置は、いざというときに正しく動作させるため、定期的な保守・点検が必要です。
特定火災通報装置の設置が義務付けられている特定防火対象物では、下記定期点検の実施、ならびに点検結果の報告（１年に１回）が、消防関係法令により定められておりますので、必ず行うようにして下さい。
特定火災通報装置の保守点検を行う実施者には、甲種第４類消防設備士資格、乙種第４類消防設備士資格、あるいは第２種消防設備点検資格者資格が必要となりますので、施工店、販売店などと保守点検契約を結ばれることをお薦めします。

点検の種類	内容	定期点検間隔
機器点検	消防用設備等の機器の適正な設置、損傷等の有無その他主として外観から判断できる事項を消防用設備等の種類等に応じ、別に告示で定める基準に従い確認する。	６ヶ月
	消防用設備等の機器の機能について、外観から又は簡易な操作により判別できる事項を消防用設備等の種類等に応じ、別に告示で定める基準に従い確認する。	

弊社リサイクルシステムについて

事業系使用済製品の取引とリサイクルについてのお願い。
・本製品の所有権が事業主の場合には、使用済後廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
・製品所有者が弊社に廃棄を依頼される場合には、弊社と提携している物流業者（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りを行ないますので、その際には、弊社支援センターへお問い合わせをお願いいたします。
・弊社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済製品の解体、分解処理により、部品の再使用や材料のリサイクルを行っています。

1 使用上のご注意

次のようなことは避けて下さい。故障や誤動作の原因になります。

●直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに設置しないで下さい。また、ほこりがでるところや、極端な高温／低温／高湿度の場所に設置しないで下さい。

項目		仕様
温度	動作時	0～40℃
	保存時	-10～50℃
湿度	動作時	30～90%（結露なきこと）
	保存時	30～90%（結露なきこと）

●落下等、強い圧力や衝撃を与えないで下さい。
●クリップやホチキスの針等が装置の中に入らないようにして下さい。
●濡れた手で触らないで下さい。
●テレビ・ステレオ・電子レンジ等の強い磁気を発するものをそばに置かないで下さい。

注意	異常時以外は、特定火災通報装置の電源コンセントは、抜かないで下さい。

●水をかけたり、飲物をこぼしたりしないで下さい。
●振動の激しい場所に設置しないで下さい。
●アルコール、シンナーやベンジン等揮発性の強いものや、化学ぞうきんは、使わないで下さい。汚れのひどいときは、柔らかい布を水にひたし、かたく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げて下さい。
●本製品は、電波妨害防止を目的とした基準（VCCI ｸﾗｽB）を満足しておりますが、ラジオ・テレビに近接して使用すると、受信障害の原因となることがあります。
●緊急時の操作に支障をきたしますので、本製品のまわりに物を置かないで下さい。
●本体は熱による変色の恐れがあるので、タオルなどを掛けないで下さい。
●本製品が設置された防火対象物の火災の時のみ、本製品を使用して下さい。隣接した建物などの火災、救急要請または救助要請は、一般の電話機で通報して下さい。

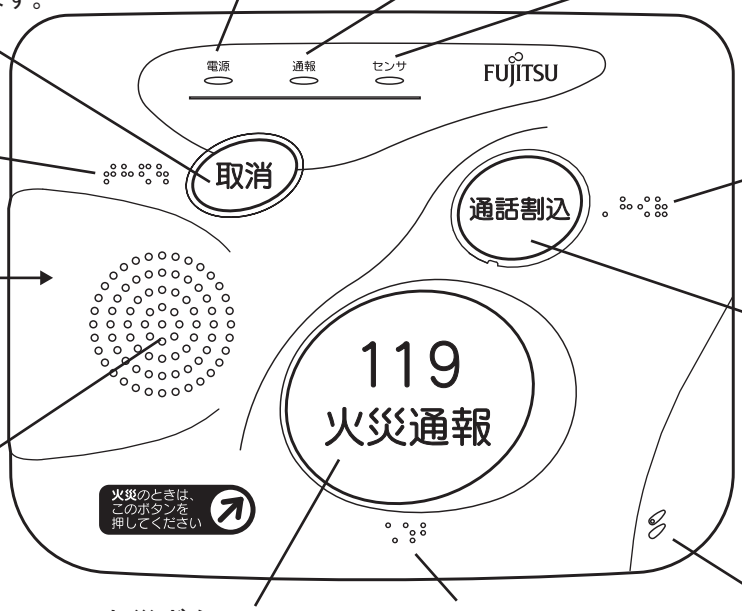
2 各部の名前とはたらき

・取消ボタン
間違って火災ボタンを押したときに、通報を取り消すために押します。
また、外部警報機器の動作を停止させる場合に押します。
なお、常夜灯の選択機能も本ボタンにより操作できます。

・電源ランプ
通常は点灯状態です。停電時は、ゆっくり点滅します。
装置故障時は早く点滅します。

・通報ランプ
通報動作中は点滅します。
外部電話機使用中は点灯します。

・センサランプ
自動火災報知設備等が作動したときに点灯します。



・点字（トリケシ）

・点字（ワリコミ）

特定火災通報装置本体

・通話割込ボタン
消防機関にメッセージを送出している間は点滅します。
点滅している間にこのボタンを押すと、メッセージが止まり、ハンズフリーに切替り、消防機関と直接通話できます。

・スピーカ
通報のメッセージや通報先の相手の声が聞こえます。

・火災ボタン
火災が発生した時に押して下さい。
１１９番に通報されます。
通報動作中は点滅し、通報先が応答すると点灯に変わります。

・点字（カサイ）

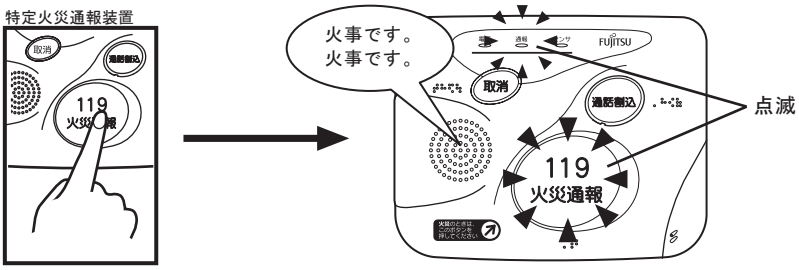
・マイク
この近くで話すと相手によく聞こえます。

3 火災通報のしかた

火災が発生した場合、以下の操作に従って火災通報して下さい。

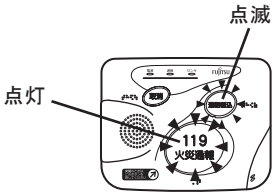
1　火災ボタンを押して下さい。

火災ボタンが点滅し通報を開始します。
スピーカから「火事です。火事です。」のメッセージが流れます。



2　消防機関が応答します。

火災ボタンが点灯し、通話割込ボタンが点滅します。
「ピ-ピ-ピ-、 ピ-ピ-ピ-、
火事です。火事です。・・・・・」
とメッセージが消防機関へ通報されます。（通話割込ボタンが点滅している間にこのボタンを押すと、メッセージが中断されてハンズフリーに切替り、消防機関と直接通話できます。）



3　ハンズフリーに切替ります。

メッセージの出力が終わると、通話割込ボタンが消灯し、「ハンズフリーに切替ります。」とメッセージが流れ、ハンズフリーに切替り、直接消防機関と通話できます。

注意	間違って押したときは、ただちに取消ボタンを押して下さい。

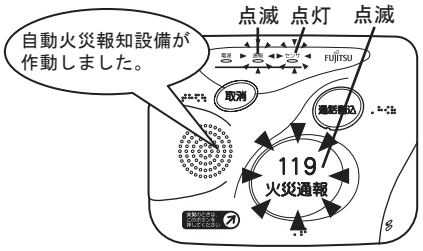
補足	本製品に電話機を接続して使用される場合、ハンズフリーで通話中に、接続されている電話機の受話器を持ち上げると、受話器で消防機関と通話できます。受話機を下ろすと、ハンズフリーで消防機関と通話できます。

4 自動火災報知設備連動

防火対象物に自動火災報知設備が設置されている場合は、連動停止スイッチを介して特定火災通報装置と連動することができます。（自動火災報知設備からの信号は、本製品のセンサ１入力に接続されます。）

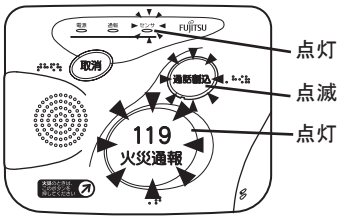
1　火災ボタンが点滅し通報を開始します。

自動火災報知設備が作動すると、火災ボタンが点滅し、スピーカから「自動火災報知設備が作動しました。」とメッセージが流れます。



2　消防機関が応答します。（火災ボタンが点灯し、通話割込ボタンが点滅します。）

「ピンポーン、ピンポーン、自動火災報知設備が作動しました・・・・・」とメッセージが消防機関へ通報されます。
（通話割込ボタンが点滅している間にこのボタンを押すと、メッセージが中断されてハンズフリーに切替り、消防機関と直接通話できます。）



3　ハンズフリーに切替ります。

メッセージの出力が終わると、通話割込ボタンが消灯し、「ハンズフリーに切替ります。」とメッセージが流れ、ハンズフリーに切替り直接消防機関と通話できます。

補足	本製品に電話機を接続して使用される場合、ハンズフリーで通話中に、接続されている電話機の受話器を持ち上げると、受話器で消防機関と通話できます。受話機を下ろすと、ハンズフリーで消防機関と通話できます。

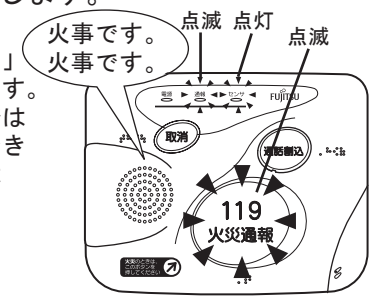
5 その他の通報　（センサ通報の動作について）

本製品のセンサ２～５入力にあらかじめ各種センサ（最大4種類）を接続しておくことで、センサがはたらいたときに所定の通報先へ通報を行うことができます。

［例］火災センサがはたらいたとき

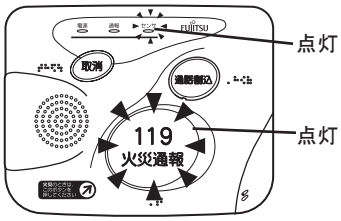
1　センサランプが点灯します。

スピーカから「火事です。火事です。」というメッセージが出ます。センサ通報のメッセージは任意に設定することができますが、工事業者または保守者の作業ですので使用者は設定しないで下さい。



2　あらかじめ設定した通報先が応答します。（火災ボタンが点灯に変わります）

通報先が応答しないときは、次の通報先に自動転送します。



3　通報先の応対者が状況を確認します。

ハンズフリーに切替り、通報先の応対者と通話ができます。このときセンサランプが点灯しています。

注意	本製品は、センサの通報先を消防機関（119番以外）とすることができますが、予め消防機関の了承を得てから運用して下さい。

⚠注意	センサが動作したときは、状況の確認を行い初期消火や避難等の適切な対処をして下さい。

6 常夜灯機能について

夜間等、火災ボタンの位置を示すために火災ボタンを点灯（常夜灯）させることができます。
取消ボタンを３秒以上押すことにより、点灯（常夜灯）⇔ 消灯になります。

7 日常の点検

本製品が緊急時の操作に支障をきたしたり、不動作、作動遅れ、誤動作の原因を発生させないよう、日常、次の点検を行って下さい。本製品に異常が見つかった場合は、施工店、または販売店へご連絡下さい。

●本体の電源ランプが点灯しているか？　消灯、点滅していないか？

●定期的に音（ピッ）が鳴っていないか？

●本製品のまわりに物を置いていないか？（操作の支障となっていないか？）

●本製品の外観に変形、損傷などないか？

●本製品に電話機を接続している場合は、電話機の受話器が外れていないか？

注意	・電源ランプがゆっくり点滅している時（１秒点灯、９秒消灯）は停電状態です。コンセントが抜けていないか点検して下さい。 ・電源ランプが早く点滅している（1秒点灯、1秒消灯）、定期的（１分）に音（ピッ）が鳴っている時は装置故障です。装置交換が必要ですので、施工店、または販売店にご連絡下さい。 取消ボタンを押すことで、音が停止します。

8 仕様

・基本仕様（特定火災通報装置基本仕様）

項目	仕様	備考
種別	特定火災通報装置	
型名	ＨＦＡ２００	
型式番号	(財)日本消防設備安全センター認定型式番号　特定火通－００２号 (財)電気通信端末機器審査協会　技術基準適合認定　Ａ１０－０３３８００１	
温度	動作時0～40℃　　保存時-10～50℃	
湿度	動作時30～90%　　保存時30～90%	結露なきこと
入力電源	AC100V　　50/60Hz	
消費電力	待機時5VA、動作時14VA（最大負荷時）	
予備電源	電池名称：バッテリー　電圧：7.2V　容量：1300mAh（ニッケル水素電池）　※	
伝導／輻射雑音	ＶＣＣＩ　クラスＢ	
停電保証時間	1時間の停電継続後に10分以上の動作が可能	
適用回線	NTT加入電話（アナログ）回線、ADSL回線　※※ ダイヤル種別（10PPS/20PPS/プッシュ）、20PPS/プッシュ切換えは自動判別　※※※	
接続回線数	1回線	
直流抵抗値	219Ω	
静電容量	0.5μF（インピーダンス：31ｋΩ）	
設置条件	壁掛け	
外形寸法	縦165×横210×高48mm	
装置質量	約0.8ｋｇ	
蓄積音声情報	火災の場合 「ピーピーピー、ピーピーピー、火事です。火事です。（固定メッセージ）防火対象物の所在地、建物名及び電話番号等（任意メッセージ）」を2回繰返し、「ハンズフリーに切替ります。」とメッセージが流れハンズフリーに切替ります。 自動火災報知設備連動の場合 「ピンポーン、ピンポーン、自動火災報知設備が作動しました。（固定メッセージ）防火対象物の所在地、建物名及び電話番号等（任意メッセージ）」を2回繰返し、 「ハンズフリーに切替ります。」とメッセージが流れハンズフリーに切替ります。	固定メッセージ、任意メッセージ1回と「ハンズフリーに切替ります。」の合計の長さは30秒以内です。
自火報設備との連動	連動	
警報出力（ｵｰﾌﾟﾝｺﾚｸﾀ）	2出力（最大定格　DC 24V　250mA）	抵抗負荷

※　　本製品は、外部に非常電源装置を設置することを必須としません。

※※　ADSL回線に本製品を接続する場合、ADSLモデムの外部にスプリッタを設けて、接続して下さい。
（ADSLモデムの電話機接続口には、本製品を接続しないでください）
本製品は、ISDN回線やIP電話回線に接続して使用することはできません。
ISDN回線については、ターミナルアダプタを経由して接続することも保証いたしかねますので、お止め下さい。
本製品を内線、あるいは４線式または６線式の電話回線（ホームテレホンやビジネスホン等）に接続しないで下さい。

※※※　回線種別の自動切換えは、20PPS設定時はプッシュへ、プッシュ設定時は20PPSへ自動的に切換えます。
自動切換えにて判別できない場合は、自動的に切換え前の種別にてダイヤルします。

・その他仕様（火災ボタン通報以外の仕様）

項目	仕様	備考
センサ入力	5入力（最大開放電圧DC+12V　最大流出電流7mA）	無電圧接点 （ｹｰﾌﾞﾙ長 100mMAX）
センサ用電源出力	2出力（最大定格　DC 5V　15mA）X1、（最大定格　DC12V　50mA）X1	

9 故障のときには

故障のときには、施工店、または販売店にご連絡下さい。

⚠ 警告	●本製品の異常時について 煙がでている、変なにおいがする、異常音がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜くか、または電源供給元（ブレーカー等）を停止して、施工店、または販売店にご連絡下さい。 ●電源ランプが早く点滅している、本製品から定期的に音がする場合 電源ランプが早く点滅している（1秒点灯、1秒消灯）、定期的（１分）に音（ピッ）が鳴っている時は装置故障です。装置交換が必要ですので、施工店、または販売店にご連絡下さい。 取消ボタンを押すことで、音が停止します。

10 その他

●装置耐用年数
本製品の耐用年数は７年間です。
装置の耐用年数を過ぎた場合には、早期の装置交換をお願いします。

●保証について
無料修理内容については次ページの保証書をご参照下さい。保証期間経過後の修理については有償となります。

●補修用性能部品の保有期間について
本製品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後７年間保有しています。

本製品についてのお問い合わせは、下記にお申し付け下さい。

連絡先
FUJITSU 富士通テレコムネットワークス株式会社
支援センター ☎(044) 813-5184

All Rights Reserved, Copyright © 富士通テレコムネットワークス株式会社 2011

保 証 書

品 名	ホームファイアーアラート®（ＨＦＡ２００）

上記、機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書は無料修理規定に基づき商品の故障について無料対応させていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、下記販売店にご連絡いただき、修理の際には本書をご提示下さい。なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点がございます場合は、下記販売店にお問合せ下さい。

〈無料修理規定〉

1. 本書の注意書きに従って正常な使用状態で、保証期間中に機器が故障した場合には無料で修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して修理をお受けになる場合には、下記販売店にご連絡下さい。
3. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   (1) 本書のご提示がない場合。
   (2) 本書にお客様名、お引き渡し日、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   (3) ご使用の誤り、または不当な修理・調整や改造による故障および損傷。
   (4) 火災・地震・風水害・落雷・異常電圧およびその他の天災地変公害による故障および損傷。
   (5) 接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷。
   (6) お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.
5. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管して下さい。
6. ご転居の場合は、事前に下記販売店にご相談下さい。

※ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理につきましては、下記販売店にお問合せ下さい。

★印欄に記入・押印もれがありますと無効になりますので、必ず記入の有無をご確認下さい。もし、記入もれの箇所がある場合は、直ちに下記販売店にお申し出下さい。

★お客様	お 名 前	殿
	納 入 先	

保 証 期 間	★お引渡し日 平成 年 月 日 より １年間	製 造 番 号	

★販売店	住所・社名・電話	発行 平成 年 月 日 印

製造元 富士通テレコムネットワークス株式会社